



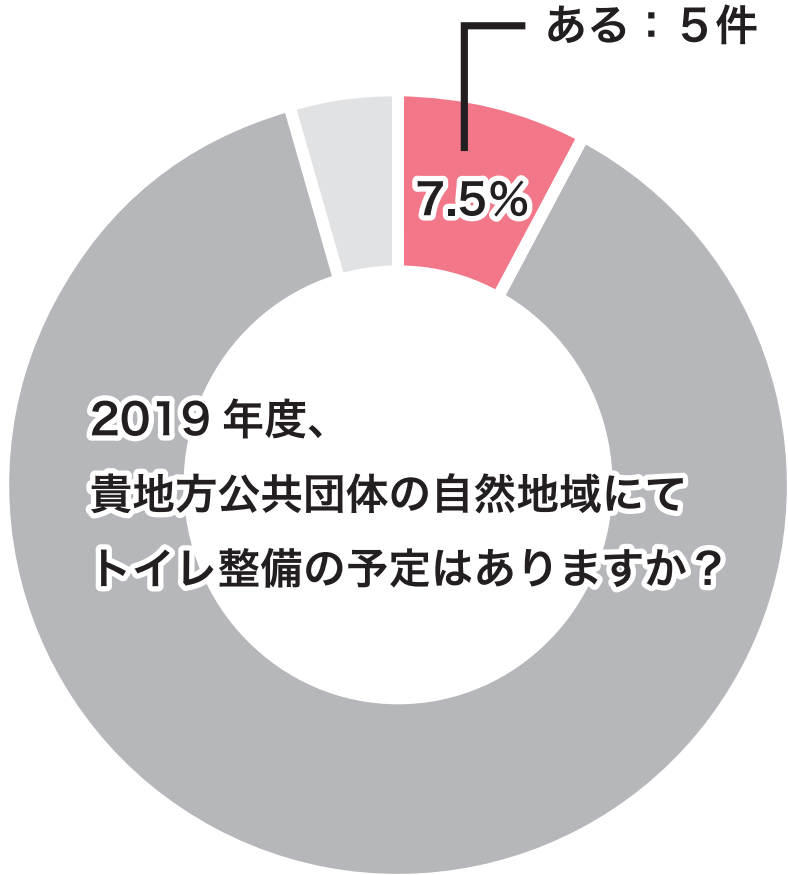
自然地域トイレし尿処理技術分野
地方公共団体アンケート

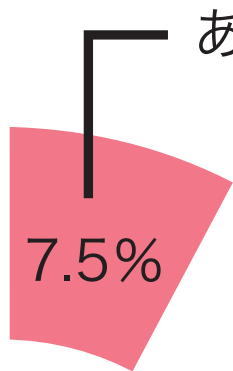
特定非営利活動法人 日本トイレ研究所

本アンケート実施概要

調査目的	環境技術実証事業自然地域トイレし尿処理技術分野の方向性や技術の普及について検討する際の参考とする
調査対象	国立公園・国定公園が所在する自治体、 47都道府県、山小屋等
調査地域	日本国内
調査方法	調査票への記入
調査時期	2019年1月18日(金) - 2月8日(金)
有効回答数	66件 (内訳 都道府県：8件、市町村58件)







ある：5件

内訳

山小屋等山岳施設・・・3件（うち新築1）

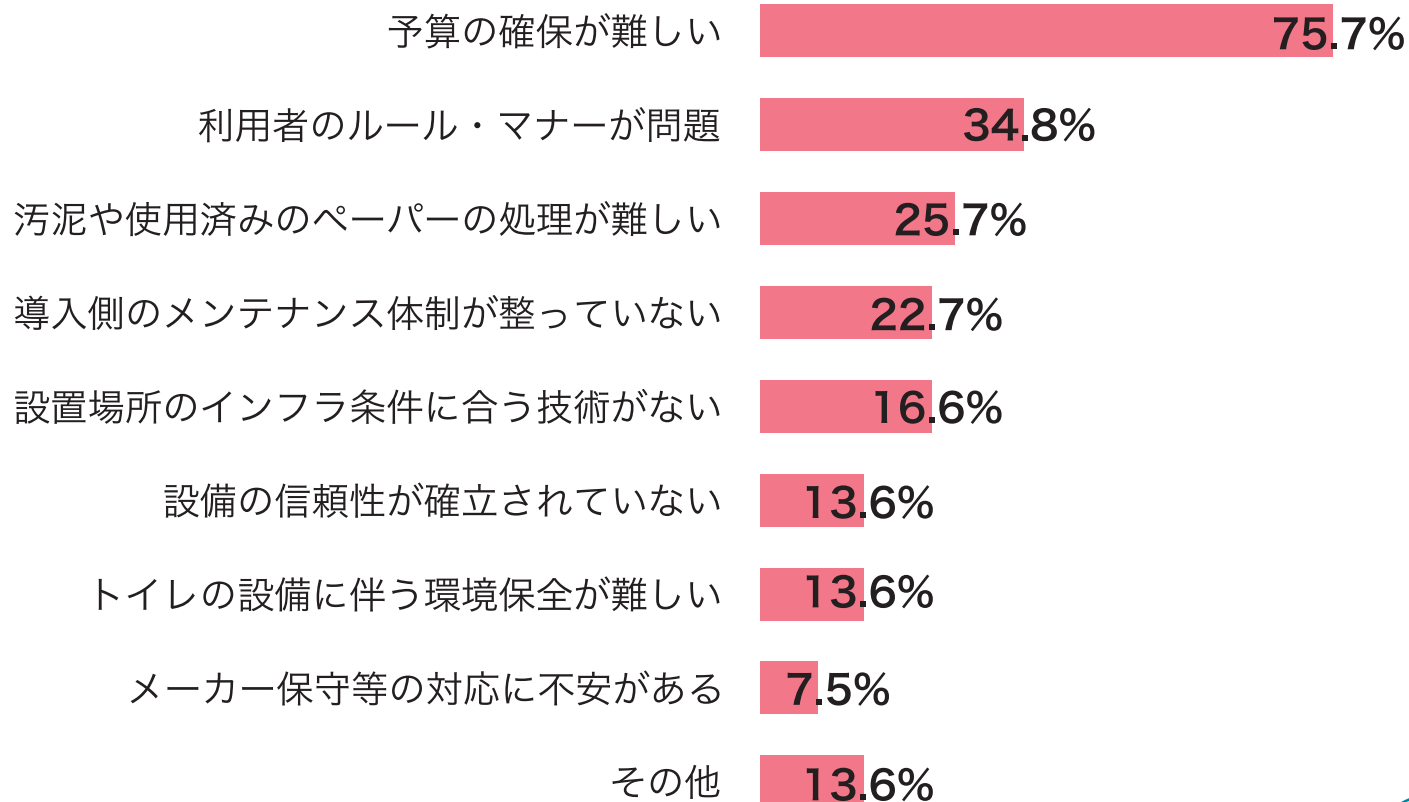
平均予算額 ￥106,270,000-

その他（公衆トイレ等）…2件（うち新築0）

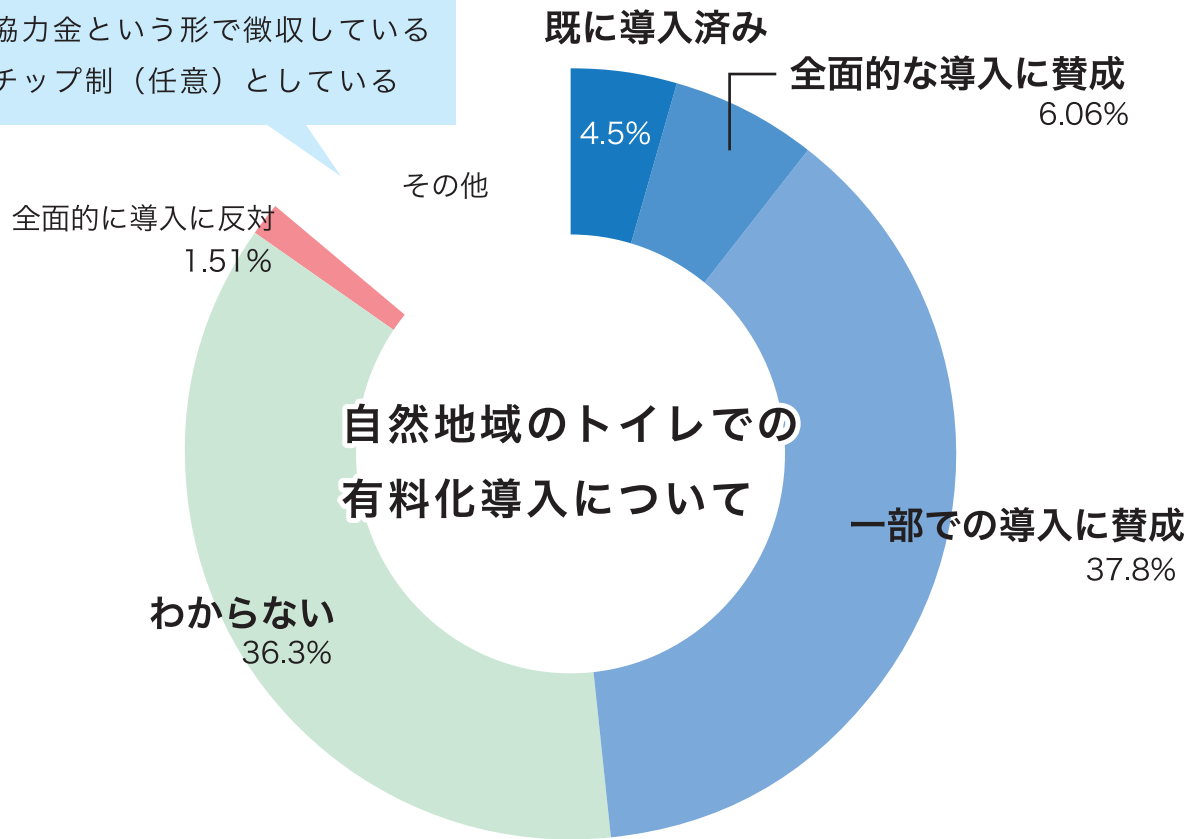
平均予算額 ￥7,500,000-



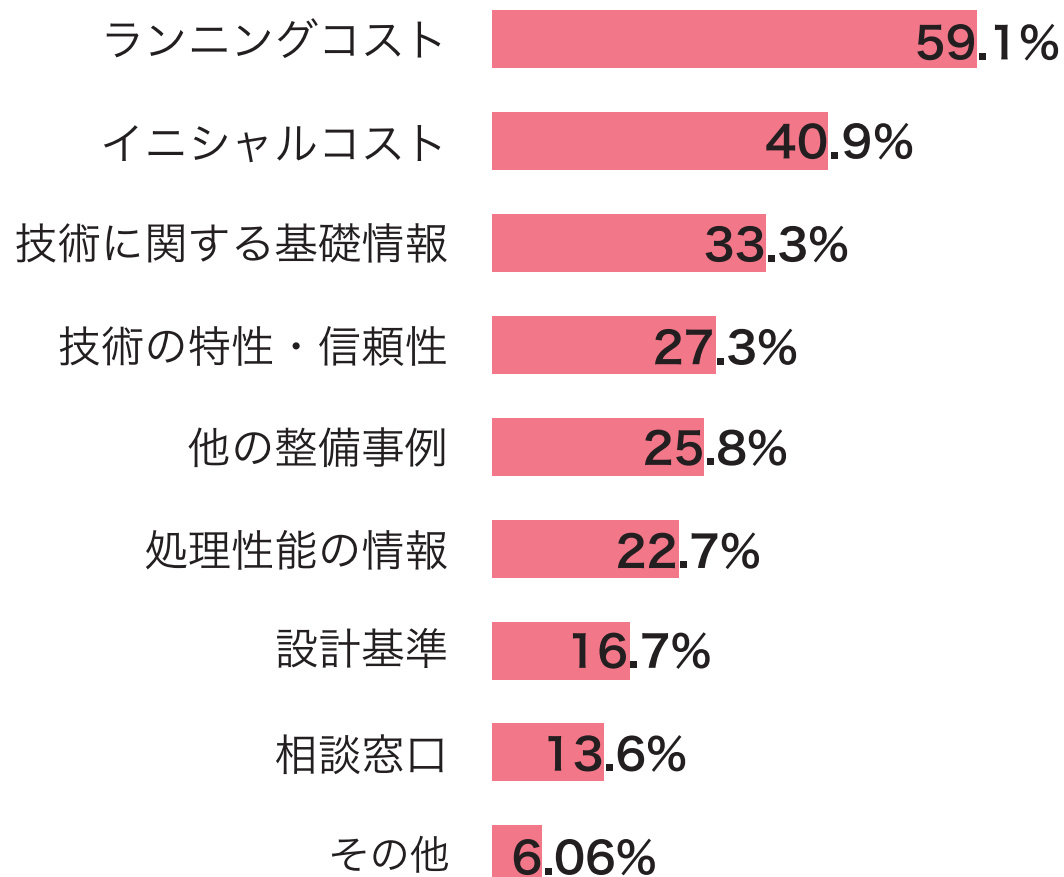
自然地域（山岳、海浜、離島等）のトイレ整備における悩み



- ・一部のトイレでは導入済み
- ・協力金という形で徴収している
- ・チップ制（任意）としている



自然地域のトイレについて不足している情報



具体的な回答一覧

- ・新たに設置を検討している箇所の配電設備（太陽光、風力）を模索中。導入に要する費用を検討中。
- ・市町村では技術が分からないことが多いので、知識的に長けた方の担当等の派遣や相談が必要だと実感します。
- ・トイレ設置後の維持管理体制について、情報が欲しい。（良い点、悪い点、工夫したところ）
- ・電気、水道等のインフラが未整備の状態、どのようにし尿を処理すれば良いのか、どのような技術があるのか不明。現状が汲取りトイレである。トイレが老朽化しており、更新を検討したい。
- ・携帯トイレの利用等検討したい。
- ・性能の良い機器であっても、特殊なものは故障時に地元業者で対応することが難しい。維持管理のしやすいもので導入を検討する必要があると感じている。
- ・施設利用者のマナー向上が課題であり、効果的な取り組み事例があればご教示いただきたい。

